

## 第47回構造力学コロキウム

### 「建築構造設計におけるリダンダンシーとロバストネスの果たす役割」

建築構造設計では、構造特性や外力が有する不確定性（必然的に存在するランダム性と認識の不十分さに起因する不確定性など）に対するロバスト性を的確に検討・考慮する必要があり、致命的な損傷や崩壊に至らないために、リダンダンシーも重要な構造性能である。本コロキウムではそれらの理論的背景と実設計例について話題提供および議論を行う。

<主催> 日本建築学会近畿支部構造力学部会

日 時 2009年2月21日（土） 13:30～17:00

会 場 大阪市立大学文化交流センター，ホール（大阪駅前第2ビル6階）

内 容 司会 辻 聖晃（京都大学）

1) 山川 誠（京都大学）

「建築構造の性能最適化におけるロバスト設計の適用例」

2) 高田豊文（滋賀県立大学）

「複数の荷重条件を考慮したトラス・トポロジーの多目的最適化」

司会 高田豊文（前出）

3) 朝川 剛（日建設計）

「ロバストネス及びリダンダンシーを考慮した設計例」

4) 竹脇 出（京都大学）

「パッシブ制振におけるロバスト性について」

参加費・資料代 2,000円

申込方法 E-mail または FAX で2月14日（土）までにお申し込み下さい。定員（60名）に達した場合、お断りの方のみ通知します。

申込み・問合せ 京都大学大学院工学研究科 都市環境工学専攻 辻 聖晃

FAX(075)383-3297 E-mail : mtsuji@archi.kyoto-u.ac.jp